

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人一人に合わせた支援プログラムがある	800以上あるプログラムの中から「今、必要な支援」と「将来的に必要な支援」の見通しを立てて、支援内容の優先順位を決定している。	外部研修を取り入れているが、定期的に行いセラピーの質を上げるために見直しを行う。
2	家族支援が充実している	毎回のご利用後のフィードバックの時間に保護者様からのご意見をお聞きしている。できたことだけでなく、苦手に対するの道筋を共有して、保護者にも支援の見通しを持ってもらえるように伝えている。	家庭での取り組めるプログラムの提案を行う。
3	基準人員以上の人員を配置している。セラピーを行う職員は有資格者のみを配置している。	セラピーを行う職員は有資格者のみを配置している。メンター制度を取り入れて、研修を行い質の高い支援を行えるようにする。	新人育成をより強化する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がない	送迎を行わないことで、支援に力を入れている。	ファミリーサポートに登録する事で、送迎も可能なことを保護者に提案していく。
2	事故マニュアルや避難訓練等が周知しにくい	エントランスに掲示していることを契約時に伝えているが、うまく保護者に伝わっていない	定期的にみらいダイアリーや書面にて通知していく
3	地域との交流が少ない	保育園や幼稚園訪問は行っているが、周知されにくい。	引き続き連携を図っていく。